

# 令和2年度 調査研究委員会 事業報告

## 1. 活動テーマ

会員による研究活動の推進

## 2. 目的

調査研究事業をとおして保健師の専門性を確保し、保健師の資質向上と保健師業務に係る課題に対して、全国保健師長会調査研究事業（独自事業）の実施により、保健師活動の専門性を高めた活動の推進を図る。

## 3. 実施内容

| 回 | 開催日               | 場 所   | 内 容  |
|---|-------------------|-------|--|
| 1 | 令和2年<br>4月24日～27日 | メール会議 | 第1回調査研究委員会<br>(1) 2019年度調査研究事業について<br>(2) 事業PRについて<br>(3) 2020年度調査研究事業について |
| — | 8月3日～31日          | メール会議 | 令和2年度調査研究事業及び政令指定都市・中核市・特別区会調査に関する内容確認                                     |
|   | 10月3日             | Web会議 | 【拡大常任委員会】<br>令和2年度調査研究応募状況   |
| — | 10月20日～22日        | オンライン | 第79回日本公衆衛生学会総会での<br>ブース展示枠へのWeb利用  |
| — | 11月上旬～<br>12月下旬   | メール会議 | 2019年度調査結果ホームページアップに向けた内容確認作業<br>2021年度（令和3年度）調査研究事業募集要綱作成について             |
|   | 令和3年2月13日         | Web会議 | 【常任委員会】令和3年度調査研究事業応募要項（案）の検討   |
|   | 2月15日～3月12日       |       | 令和3年度調査研究事業募集 開始予定   |
| 2 | 3月20日             | Web会議 | 第2回調査研究委員会<br>(1) 2021年度調査研究事業の選定<br>(2) 2020年度調査研究委員会報告書（案）<br>(3) その他    |

## 4. 結果・課題

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い現場業務繁忙により応募がなかった。コロナ禍において求められる保健師活動を推進するための課題は多く、会員に保健師のリーダーとして必要な研究に積極的に取り組んでもらえるよう引き続き広報したい。

この5年は人材育成等類似するテーマの応募が多いが、健康危機管理として新型コロナウイルス感染症に対峙した保健師活動については、記録としても保存しておく必要あり。第79回日本公衆衛生学会総会（オンライン）でブース展示を行い、全国保健師長会及び調査研究事業について広く周知を図った。

## 5. 委員

|        |       |                                  |
|--------|-------|----------------------------------|
| ○委員長   | 吉田 知可 | 大分県福祉保健部 健康づくり支援課 健康寿命延伸班 主幹     |
|        | 福原 円  | 小山市保健福祉部地域包括ケア推進課 地域支援係長         |
|        | 斉藤富美代 | 埼玉県狭山保健所 副所長                     |
| オブザーバー | 田高 悦子 | 横浜市立大学大学院医学研究科・医学部看護学科地域看護学領域 教授 |
| オブザーバー | 北岡 英子 | 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科 教授         |